

備前市 施策評価シート

(平成21年度事業)

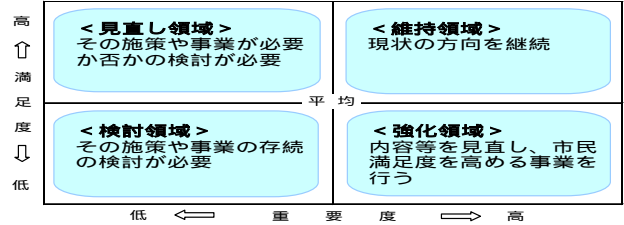
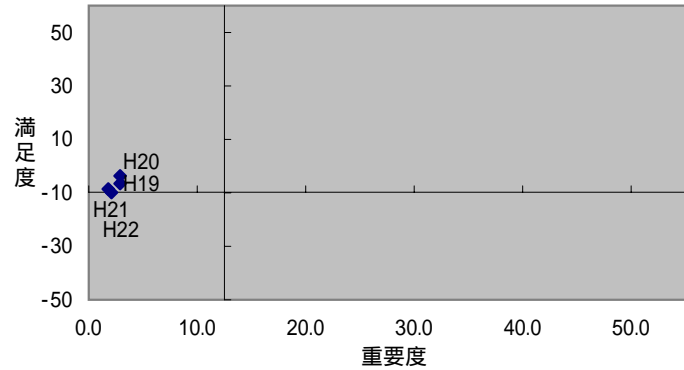
施策名 (小項目)	成人教育	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-02-03		氏名	末長章彦
				電話	64-1841
				このシート作成に要した時間	1.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	地域文化と人が輝くまちづくり
	基本施策(中項目)	生きがいのあるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	すべての市民が様々な機会や場を活用し、自らの学習意欲を満ち、生活を豊かにする。また、社会教育団体が研修や実践活動を通して資質の向上を図ることを支援し、社会参加の促進を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	心豊かで生きがいのある人生を送るための学習機会の提供では、学びのニーズ多様化により把握が困難だが、実生活に即したものを提供する。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 学習情報の提供 学習機会の拡充 企業地域との連携 各種学級・講座の充実 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	2.9	2.9	1.8	2.1
満足度(%)	- 6.6	- 3.7	- 8.6	- 9.9



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民意識調査では、男性は重要度を高くかつ満足度が低く回答され、女性は重要度はあまり高くないものの満足度が高く回答されている。男性はなかなか参加し辛いが関心はある、施策となっている。
---------------------	--

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21		H22	H28
成果指標 自発的な学習に取り組んだり趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合	目標	%	35.0	35.0	35.0	H22	35.0
	実績	%	33.6	32.3	34.9	H23	35.0
	達成率	%	96.0	92.3	99.7	H28	35.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標 成人式への新成人参加率	目標	%	90.0	90.0	90.0	H22	90.0
	実績	%	80.0	78.0	74.0	H23	90.0
	達成率	%	88.9	86.7	82.2	H28	90.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標 図書館イベント参加者数	目標	人	10,000	10,000	10,000	H22	10,000
	実績	人	15,164	5,268	8,041	H23	9,000
	達成率	%	151.6	52.7	80.4	H28	9,000
	ベンチマーク					-	-
参考指標	目標					H22	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度	経費の性質 義務的 経常的 その他
				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数		
1 生涯学習推進事業	B	生涯学習推進委員会運営事業	単市	0	0		0	304	0.04	-	-	-		その他
		県民フェスティバル開催事業	補助	3,335	9,193		0	2,014	0.23					H20終了
		子ども情報センター運営事業	単市	802	1,571	1.42	652	1,214	0.16	646	1,972	0.26		その他
		公用車管理事業	単市	240	75		256	76	0.01	104	76	0.01		経常的
		生涯学習課管理運営事業	単市	151	823		127	531	0.07	165	789	0.10		経常的
		子ども読書活動推進フォーラム開催事業	単市							0	1,517	0.20		その他
		子ども読書計画策定事業	単市						0	1,972	0.26		その他	
2 奨学資金貸付事業	C	奨学資金貸付金給付事業	法定	9,060	1,671	0.22	4,560	2,125	0.28	2,282	1,896	0.25		義務的
3 PTA連合会支援事業	B	備前市PTA連合会補助事業	単市	128	75	0.01	84	76	0.10	80	76	0.01		その他
4 人材養成講座事業	A	人材養成講座事業	単市	25	250	0.03	0	0	0.00	42	152	0.02		その他
5 社会教育事業	C	社会教育委員活動事業	単市	209	1,058		171	720	0.07	207	455	0.06		その他
		社会教育指導員活動事業	単市	1,371	27	0.32	1,388	0	0.00	1,381	0	0.00		その他
		教育の日関連事業	単市	851	150		288	768	0.08	64	1,017	0.13		その他
		成人式運営事業	単市	606	1,355		358	1,508	0.19	275	1,548	0.20		その他
6 婦人協議会支援事業	C	備前市婦人協議会補助事業	単市	270	75	0.01	216	152	0.02	216	228	0.03		その他
				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				17,048	16,323	2.01	8,100	9,488	1.25	5,462	13,246	1.73		

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	4	市民の学習意欲や関心度を把握することが必要である。	
<事業構成の適当性> 2 手段は最適か?	3	生涯学習推進事業では、スクラップアンドビルドの繰り返しとなる。特に21年度は子ども読書活動に焦点を当てた事業構成となったが、この成果を後年検証していく必要がある。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	人材養成講座事業で、また、婦人協議会支援事業で市民のボランティア意欲の高まりを感じられた。各種講座の受講者が、講座によって得られたものを社会に還元していけるよう、活躍できる場づくりを考えていかなければならない。	
本年度(H22年度)取組内容 (課題解決状況)		21年度策定の子ども読書活動推進計画に沿った、子ども読書環境の整備を考察していく。	
翌年度(H23年度)取組目標		学校支援事業や人材養成講座でのボランティア講座など、地域に各々が持てる能力を還元するシステムを検討する。	
二次評価者コメント		すべての市民が、自らの学習意欲を満ち、その学習で習得したものを社会に還元できる方策を考える必要がある。今、ボランティアへの参加意欲が高まっているので、取り組みやすく、学習すればするほど奥行きのあるもので、早くに取り組んだ者が、後からの者に指導でき、地域社会が求めているものの把握を心がけること。たとえば学校支援地域本部活動などの充実を図るなどが有効と思慮する。	
役職 氏名	教育次長 竹中 史朗	基本施策への貢献度 3 中立	